



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日

上場会社名 ニフティライフスタイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 4262 URL <https://www.niftylifestyle.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 成田 隆志
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員（氏名） 浅野 雄太（TEL）03(5937)3567
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		EBITDA ※		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	2,454	13.6	473	40.6	688	35.1	475	40.9	300	50.9
2025年3月期中間期	2,159	44.4	336	△4.0	509	13.7	337	△4.6	198	△13.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 300百万円（50.9%） 2025年3月期中間期 198百万円（△13.3%）

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	47.15	46.89
2025年3月期中間期	31.23	31.14

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	7,019	5,927	84.0
2025年3月期	7,016	5,803	82.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,894百万円 2025年3月期 5,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	－	9.00	－	23.00	32.00
2026年3月期	－	27.00			
2026年3月期（予想）			－	27.00	54.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		EBITDA		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	5,324	7.8	1,072	6.8	1,523	10.5	1,070	7.5	692	108.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	6,383,177株	2025年3月期	6,369,175株
2026年3月期中間期	32,060株	2025年3月期	-株
2026年3月期中間期	6,364,888株	2025年3月期中間期	6,366,728株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	9
(収益認識関係)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日～9月30日)における我が国経済は、雇用や所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調となりました。一方で、物価上昇に加え、米国の政策動向や地政学的リスクの高まり等の世界情勢の不確実性もあり、依然として先行きの不透明感が続いております。

こうした環境の下、「思いやりとテクノロジーで、一人ひとりの『幸せな暮らしの意思決定』を支え続ける。」をパーパスに掲げる当社グループは、2030年3月期に向けた新たなビジョン「『人生100年時代の意思決定』を支える企業へ」を策定いたしました。本年5月に公表した中期経営計画は、この新ビジョンに基づく5か年計画として、多様なライフスタイルに伴う意思決定を支援するLIFE STYLE領域と、企業や働く人の意思決定を支援するWORK STYLE領域の2つの事業ドメインから、人生100年時代の意思決定を支える企業を目指す内容です。計画初年度となる2026年3月期は、LIFE STYLE領域における住まいカテゴリーを中心とした売上成長を図るとともに、今後5か年における経営戦略・事業戦略を踏まえた事業基盤の構築や、中長期的な成長を見据えた人材投資やオフィス関連投資等も推進する計画です。

当中間連結会計期間につきましては、LIFE STYLE領域の住まいカテゴリーが業績成長を牽引しました。

カテゴリーのコア事業であるニフティ不動産では、一人ひとりの志向に合わせた接客を実現するためにアプリのUI/UX改善に継続的に取り組んでいることに加え、主には購入領域でのアプリダウンロード数増加やリピートユース施策が送客数の増加につながり、売上高の堅調な推移に寄与しました。UI/UXについては、第三者機関の調査における、掲載物件情報数・こだわり条件数No. 1の2年連続での獲得や、グッドデザイン賞の受賞等にもつながっております。また、株式会社ドアーズが運営する「外壁塗装の窓口」では、当社ニフティ不動産マーケティングチームとの協業を通じた相互送客強化、有償プロモーション最適化等を引き続き進めてまいりました。本年9月初旬には一般建設業許可を取得しており、今後の事業領域は大きく広がる見込みです。

ウェルネスカテゴリーでは、本年9月末時点での電子チケット導入施設数は252店舗、ニフティ温泉累計登録会員数は110万人を突破しました。今後に向けては、会員基盤の強化やユーザー属性に応じた価値提供等の取り組みを進め、引き続きウェルネス領域での事業構築を進めてまいります。

もう一つの事業ドメインであるWORK STYLE領域では、販売・マーケティング支援カテゴリーを強化しており、SaaSツール提供によるストック型収益の安定的な成長に加え、広告運用サービスのクライアント数増加が業績に寄与しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は2,454百万円(前年同期比13.6%増)となり、過去最高を更新いたしました。営業利益以下の各段階利益につきましては、営業利益は473百万円(前年同期比40.6%増)、経常利益は475百万円(前年同期比40.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は300百万円(前年同期比50.9%増)となりました。M&Aの進展等による償却費用の増加を踏まえ、2025年3月期より新たに開示項目としたEBITDAは688百万円(前年同期比35.1%増)となっております。

なお、当社グループは、「行動支援サービス事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は7,019百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。

流動資産は5,025百万円(前連結会計年度末に比べ14百万円の増加)となりました。その主な要因は、売掛金回収により売掛金が83百万円減少した一方、現金及び預金が97百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,994百万円(前連結会計年度末に比べ11百万円の減少)となりました。その主な要因は、本社オフィス移転に伴う資産の新規取得等により建物及び構築物が55百万円、工具器具及び備品が32百万円それぞれ増加し、有形固定資産が87百万円増加した一方、顧客関連資産やのれんの償却等により無形固定資産が95百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円減少いたしました。

流動負債は878百万円(前連結会計年度末に比べ156百万円の減少)となりました。その主な要因は、未払金が50百万円、消費税の支払いにより未払消費税等が39百万円、法人税の支払いにより未払法人税等が38百万円、本社オフィス移転に伴い短期資産除去債務が23百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は213百万円(前連結会計年度末に比べ34百万円の増加)となりました。その主な要因は、本社オフィス移転に伴う長期資産除去債務が33百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は5,927百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益300百万円の計上があった一方、配当金146百万円の支払があったこと等により利益剰余金が153百万円増加し、自己株式取得により自己株式が45百万円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、4,279百万円(前連結会計年度末は4,182百万円)となり、97百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とその主な内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は474百万円となりました。その主な内訳は、税金等調整前中間純利益475百万円の計上、減価償却費136百万円の計上、売上債権の減少83百万円等により資金が増加した一方で、未払金の減少27百万円の計上、法人税等の支払188百万円に資金を使用したことによるもの等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は193百万円となりました。その主な内訳は、本社オフィス移転に伴う有形固定資産取得による支出67百万円、無形固定資産取得による支出105百万円、資産除去債務の履行による支出20百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は183百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払146百万円、自社株式の取得による支出45百万円等であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月7日付の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,182,019	4,279,531
売掛金	741,971	658,118
敷金及び保証金	55,357	55,357
その他	35,281	37,172
貸倒引当金	△3,191	△4,257
流動資産合計	5,011,437	5,025,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,718	83,124
工具、器具及び備品(純額)	11,097	43,315
有形固定資産合計	38,815	126,439
無形固定資産		
のれん	1,013,412	934,820
ソフトウェア	284,472	289,575
顧客関連資産	483,888	462,222
その他	686	604
無形固定資産合計	1,782,460	1,687,223
投資その他の資産		
投資有価証券	18,550	18,550
繰延税金資産	109,676	96,649
敷金及び保証金	54,082	54,082
その他	7,396	15,979
貸倒引当金	△5,431	△4,913
投資その他の資産合計	184,274	180,348
固定資産合計	2,005,549	1,994,011
資産合計	7,016,987	7,019,934

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,434	255,835
未払金	295,640	244,971
未払費用	60,228	63,916
未払法人税等	222,170	184,010
未払消費税等	69,454	30,407
賞与引当金	67,459	70,406
事務所移転費用引当金	7,179	-
資産除去債務	23,864	-
その他	27,681	29,102
流動負債合計	1,035,113	878,650
固定負債		
資産除去債務	9,387	43,330
繰延税金負債	167,846	162,659
その他	1,295	7,521
固定負債合計	178,529	213,511
負債合計	1,213,643	1,092,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,262,574	1,267,990
資本剰余金	1,179,210	1,184,625
利益剰余金	3,333,381	3,487,025
自己株式	-	△45,627
株主資本合計	5,775,167	5,894,014
新株予約権	28,177	33,758
純資産合計	5,803,344	5,927,772
負債純資産合計	7,016,987	7,019,934

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,159,526	2,454,275
売上原価	640,436	575,252
売上総利益	1,519,090	1,879,023
販売費及び一般管理費	1,182,273	1,405,393
営業利益	336,817	473,629
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	156
雑収入	933	1,483
営業外収益合計	943	1,640
営業外費用		
支払利息	3	-
為替差損	573	201
雑損失	102	45
営業外費用合計	678	246
経常利益	337,082	475,023
特別利益		
事業譲渡益	※ 23,502	※ -
特別利益合計	23,502	-
税金等調整前中間純利益	360,584	475,023
法人税、住民税及び事業税	159,877	167,049
法人税等調整額	1,857	7,839
法人税等合計	161,735	174,888
中間純利益	198,849	300,134
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	198,849	300,134

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	198,849	300,134
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
中間包括利益	198,849	300,134
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	198,849	300,134
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	360,584	475,023
減価償却費	110,085	136,259
のれん償却額	62,546	78,591
事業譲渡損益(△は益)	△23,502	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,491	2,946
売上債権の増減額(△は増加)	63,990	83,852
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,292	△5,598
未払消費税等の増減額(△は減少)	△46,414	△39,047
未払金の増減額(△は減少)	△55,583	△27,074
受取利息及び受取配当金	△10	△156
支払利息	3	-
その他	△10,461	△41,775
小計	460,437	663,021
利息及び配当金の受取額	10	156
利息の支払額	△90	△87
法人税等の支払額	△239,250	△188,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,106	474,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,621	△67,065
無形固定資産の取得による支出	△73,110	△105,815
資産除去債務の履行による支出	-	△20,439
事業譲渡による収入	55,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△126	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,374,355	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,394,213	△193,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△82,038	-
配当金の支払額	△54,007	△146,401
自己株式の取得による支出	-	△45,627
ストックオプションの行使による収入	465	8,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,579	△183,304
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,308,686	97,512
現金及び現金同等物の期首残高	4,945,451	4,182,019
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,636,765	4,279,531

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書関係)

※ 事業譲渡益

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループが提供するサービスを他社に移管するにあたり、契約上の地位の移転を実施したことによる利益であります。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであり、主要な顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、2025年5月7日開催の取締役会にて決定した新たな中期経営計画において事業ドメインをLIFE STYLE領域およびWORK STYLE領域の2つに再定義しております。これに伴い、顧客との契約から生じる収益について、新たなドメインに合わせた集計とするよう、第1四半期連結会計期間より記載を変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の記載を当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて注記の組替えを行っております。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
顧客との契約から生じる収益		
LIFE STYLE領域	1,816,060 千円	2,126,086 千円
WORK STYLE領域	343,466 千円	328,188 千円
顧客との契約から生じる収益 計	2,159,526 千円	2,454,275 千円
その他の収益	- 千円	- 千円
外部顧客への売上高	2,159,526 千円	2,454,275 千円